



THE 28TH ANNIVERSARY OF HIKIKATA TATSUMI'S DEATH. TALKING TOGETHER ABOUT HIKIKATA TATSUMI

土方巽

没後二十八年

を語ること
IV

「没後 28 年土方巽を語ることⅣ」を開催します。

例年どおり、土方巽を知る人も知らない人も、命日に集い、土方巽を偲び、土方巽を語ります。夕方 5 時から夜 9 時まで長い時間を用意しています。ご都合のつく時間にお運びいただき、皆さまとともに時間を過ごしたいと願っています。

今年は、ゲストに萩原朔美さんをお招きします。映像作家としての、劇団天井桟敷の演出家としての萩原朔美さんを知る人は多いと思いますが、実は土方巽とも出会っています。土方巽の舞踏と多彩な活動が、多くの人に認め始められた頃、1970 年前後に土方巽と貴重な時間を共有されています。萩原さんならではの話をうかがうことができると思います。

昨年は、土方巽が殊の外、お世話になった方々が幽冥界を異にされています。飯島耕一さんしかり、堤清二さんしかりです。土方巽をシュルレアリストとして高く評価された飯島さん、土方巽の唯一のパトロンとっていい堤さん。土方巽にとって、かけがえのない方々でした。萩原さんのお話もここに繋がることでしょう。

昨年夏には、生地秋田で「土方巽記念秋田舞踏会」を開催しました。その芽が開き、秋田では有志が集まり、その後も活動が継続しています。

台湾でも、舞踏とともに土方巽があたたかく迎えられました。若い人の中で舞踏の木々が新たに育ち始めています。

また、昨年末には「海外女流ダンサー・ウィーク東京」を開催しました。十数名の外国人ダンサーとアーティストに参加していただき、国際交流を図るとともに、世界における舞踏の現在を確認しました。

コントロールできない舞踏のグローバル化とともに、土方巽に還ることの意義をあらためて強くかみしめています。(森)

2014 年 1 月 21 日 (火) 午後 5 時—9 時
慶應義塾大学三田キャンパス 東館 5 階会議室

最寄駅: JR 山手・京浜東北線田町駅、地下鉄三田線三田駅、大江戸線赤羽駅
入退場自由、参加無料

参加メッセージを寄せてください!

<http://www.facebook.com/keio.artcenter>

ゲスト講話

萩原 朔美 (午後 7 時頃—8 時頃)

お問い合わせ

慶應義塾大学アート・センター [担当: 森下・本間]

Tel. 03-5427-1621 ac-butoh@adst.keio.ac.jp

主催 慶應義塾大学アート・センター、ポートフォリオ BUTOH

企画 慶應義塾大学アート・センター土方巽アーカイブ 協力 NPO 法人舞踏創造資源

21 January 2014, 5^{PM} — 9^{PM}

Keio University (Mita), East Research Building 5F

[Access] JR Yamanote line Tamachi sta. / Subway Mita line Mita sta.

Admission free, come and go anytime

Send us your thoughts on Hijikata Tatsumi & Butoh!

<http://www.facebook.com/keio.artcenter>

Special Talk Hagiwara Sakumi (7^{pm} to 8^{pm})

Information Hijikata Tatsumi Archive (Keio University Art Center)

Tel. 03-5427-1621 ac-butoh@adst.keio.ac.jp

* Most of the discussions and talks are in Japanese.